北海道千歳高等学校　国際流通科　通信　　令和２年２月　　No.17

ああ担いて往かん

●挨拶・返事　●言葉遣い　●身だしなみ　●笑顔　●感謝　　文責　大森　朗輝

国際流通科集会

国際流通科集会の様子です。第１部として、「課題研究発表」を、第2部として「卒業生からの進路講話」を実施しました。

第１部では、１組３班**「恵庭市の隠れた農産物を使ったパン」**と、２組８班**「ノンアレルギー食品×被災地復興支援」**の２つの発表を行いました。１５分という限られた時間の中で、１年間の研究の成果をまとめて発表していただきました。

２年生はいよいよ４月から課題研究の授業がスタートします。最初の授業にてオリエンテーションを実施しますが、その次の時間には、自分のやりたいテーマについての作文の課題があります。（評価対象）昨年と今年の発表をヒントに考えておきましょう。

１年生は、「総合的な探究の時間」を通じて調査研究をするノウハウを学んできました。

この一年間で学び、身につけた商業・流通・ビジネス・国際に関する基礎的な「力」を、さらに来年一年をかけて多くの授業等で深めていきます。それらの力をベースに３年生で課題研究の授業を進めていきますので、２年生の１年間を使って自分自身の「力」を蓄えていきましょう。

課題研究のグループは自分のやりたいテーマに近い仲間を探して編成します。見学旅行のように気の合う仲間でグループを作成するわけでもありませんし、まして教員サイドで割り振りを行っているわけでもありません。そのため１年間をかけてじっくりやってみたいテーマを各自がしっかり考えておく必要があります。

第２部では、国際流通科を卒業し社会で、或いは進学先で活躍されている先輩達をお呼びして、後輩のために講話をしていただいております。本年度は１９名の先輩達にお越し頂きました。

国際流通科の進路希望は多種多様で、卒業生お一人お一人から講話を順番に頂くよりも、在校生が希望する進路先の先輩に直接話を聞きに行くスタイル（ブース形式）で実施しています。昨年までは２０分を２回で実施していましたが、折角の機会ですので、本年度は３回（特に３回目はこれまで進路希望として考えたことのなかった分野の話も聞ける機会として設定）の実施となりました。

今回、先輩達からの貴重な体験談やアドバイスをもらい、やるべきことが明確になった人や、進路に対する迷いが少し解決した人など様々であったと思います。

ひょっとしたら普段先生方が皆さんに言っていることと違うこともあったかも知れませんが、多くの先輩達が共通して言っていたことがあるのではないでしょうか。

「今を大切にしてください」
「夢の実現のために努力を」
「資格は取れるだけ取っておくに越したことはない」
「高校時代の努力があって今がある」

今回先輩達には「進路講話」という趣旨でお話をして頂きました。

何らかのメッセージを受け取ったはずですので、後はどう行動するかです。同じ話を聞いてもその後どうするかは変わってきます。

今回講師を引き受けてくれた先輩達にも高校時代があり、今回同様、流通科集会にて何らかのメッセージを受け取り、自身の夢や目標に向かって努力をしてきました。そのため、今回は後輩のために、立場を変えて講師を引き受けてくださいました。

在校生の皆さんにも数年後講師を依頼したいと考えておりますので、千歳高校国際流通科で努力を重ね夢をつかんで欲しいと願っています。

卒業生を送り出している立場として、卒業して立派に職場や進学先で活躍されている姿を見られて幸せに感じます。